

日本学術会議主催学術フォーラム 自然災害国際ネットワークの構築に向けて： 固体地球科学と市民との対話



日時:平成25年2月1日(金) 13:00~18:00

場所:日本学術会議講堂 定員:申込み先着300名

開催趣旨

災害国日本で行われている最近の研究成果のうちから、主として固体地球科学上の近年の災害を具体的に検討し、その研究成果を防災に応用し、さらに国際的な貢献をするにはどうあるべきかを討論する。

中でも今回は、地震、津波、火山、地すべり・崩壊の4点に絞り、その学問の到達度を確実性と不確定性の検討とともに、時間軸の中でとらえ、災害の生じる条件、頻度、防災への取り組むべき姿、国際社会に於ける情報ネットワークの必要性などについて、参加者と広く議論し、共有することとしたい。

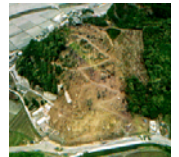
次第

- | | |
|-------------|---|
| 13:00~13:05 | 開会挨拶
北里 洋 (日本学術会議会員、独立行政法人海洋研究開発機構・IUGS分科会委員長) |
| 13:05~13:10 | 問題提起
小川 勇二郎 (日本学術会議特任連携会員、IUGS-EC理事) |
| 13:10~13:40 | 国際統合自然災害研究 (IRDR) と政策上の問題点
竹内 邦良 (日本学術会議特任連携会員、IRDR委員、独立行政法人土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター (ICHARM)) |
| 13:40~14:00 | 地震と古地震、津波
佐竹 健治 (日本学術会議連携会員、東京大学地震研究所教授) |
| 14:00~14:20 | 津波堆積物
後藤 和久 (東北大学災害科学国際研究所准教授) |
| 14:20~14:40 | 津波工学
佐藤 慎司 (東京大学大学院工学研究科基盤工学教授) |
| 14:40~14:50 | 休憩 |
| 14:50~15:10 | 活断層
佃 健吉 (連携会員、独立行政法人産業技術総合研究所理事; G-EVER委員長) |
| 15:10~15:30 | 地殻変動
池田 安隆 (東京大学大学院地球惑星科学専攻教授) |
| 15:30~15:50 | 地すべり
千木良 雅弘 (連携会員、京都大学防災研究所教授) |
| 15:50~16:10 | 海底地すべり
川村 喜一郎 (山口大学大学院理工学研究科自然科学基盤系学域准教授) |
| 16:10~16:30 | 火山災害
高橋 正樹 (日本大学文理学部教授地球システム科学科教授) |
| 16:30~16:50 | 火山災害とG-EVER
宝田 晋治 (産業技術総合研究所 地質情報研究部門; G-EVER幹事) |
| 16:50~17:00 | 休憩 |
| 17:00~17:55 | パネル討論 |
| 17:55~18:00 | 閉会挨拶
北里 洋(前出) |

コーディネーター:

北里 洋 (前出) 佐竹 健治 (前出) 松本 良 (日本学術会議連携会員、明治大学農学研究科特任教授)
千木良 雅弘 (前出) 小川 勇二郎 (前出)

後援: 日本地球惑星科学連合、日本地質学会、海洋研究開発機構、防災科学技術研究所 (予定)



申込先: 日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34

TEL: 03-3403-6295 FAX: 03-3403-1260

申込みフォーム: (<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0003.html>)